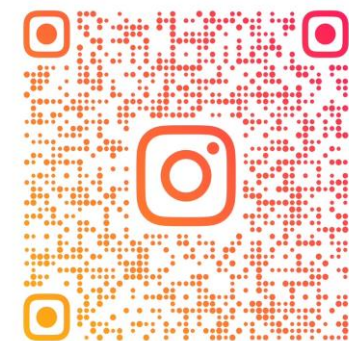


花とミツバチのにぎわう 元気な里山づくり活動

宇都宮大学雑草管理教育センター
一般社団法人里山大木須を愛する会
大木須自治会

宇都宮大学 ほんわか里山物語♪～おおぎす自然体験村～



HONWAKA_SATOYAMAMONOGATARI



目次

1. 大木須の現状・課題
2. 活動の目的
3. 具体的な活動
4. 今後の展望

1.大木須の現状・課題

〈現状〉

- 豊かな自然に恵まれた中山間地域
- かつては薪炭による伝統的な生活が営まれていた
- 高度経済成長期、薪炭が燃料利用により薪炭が減少→山の手入れが滞
- 水温の低さなど地理的要因で農業経営は不利

地域の衰退

〈課題〉

- 農林業の衰退
- 森林の疎化の進行
- 森林の管理停滞・放棄
- 雑草の繁茂、野生鳥獣被害の発生

2.地域の目的

〈最終目標〉

遊休農地・耕作放棄地
の解消

地域活性プログラムの
構築



2.活動の3本柱

1.蜜源植物栽培の省力化

2.木本植物の収集と苗づくり

3.養蜂と観光の融合

3.活動① 蜜源植物栽培の省力化

- 4種まき（アブラナ、クローバー等）で省力栽培を検証
- 課題：アブラナの優勢で他種の生育阻害
- 来年度は三種まきに改良予定



3.活動①蜜源植物栽培（アニスヒソップ）

大木須で栽培中の
アニスヒソップ↓

目指す姿↓



3.活動② 木本植物の収集

- ・ ミツバチは飛行高度に制限
→ 山奥の蜜源を活かせない
- ・ 希少種ウワミズザクラなど
9本を収集



3.活動③ 養蜂と観光の融合



- 古民家のビオトープで
景観改善を計画
- 養蜂体験、はちみつ試食会を実施
- 観光や商品開発への展開を検討

4. 今後の展望

- 収集した苗や購入した蜜源植物を古民家ビオトープに植栽
- 新たな苗の収集・養生
- イベントでの活動内容の発表・広報
- 蜜源確保以外での養蜂のサポート方法の検討
- 来年度に向けて学生間で成果と課題を整理し、方針を定める



ご清聴
ありがとうございました
